

評 価 日	平成 27 年 2 月 17 日 (火)	
評 価 ・ 提 言	学校の見解・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>①病弱教育・肢体不自由教育の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク事業の様々な取組をしていることが分かった。テレビ会議は、今後も続くのか。 ・病弱教育の一人一研究はわかったが、肢体不自由教育では、どんな取組をしているのか。 ・勉強会の内容等のデータベース化をし、知りたいときに知ることができる状況にあるか。 ・地域の学校では、特別支援教育が脆弱であり、現実には厳しい。支援学校の取り組みを地域の学校へ還元する情報発信をしてほしい。 <p>②児童生徒及び教職員の連携による 40 周年記念事業の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事への参加は貴重な体験であり、調べる→発表する場があることは大事な事である。 <p>③児童生徒及び保護者への支援の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談週間の利用状況は、どれくらいか。 ・自己肯定感が弱い子ども達である。授業と体験以外にも人との関わりが大切。 ・学校が「ふるさと」であると捉えて人との関わりの中で育てていってほしい。 ・人との関わりは雑談からである。 ・中学校では、本を通じた交流の取り組みに効果を上げている。学校間交流も検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校、皆生養護学校高等部、市立米子養護学校、松江の 2 校と将来的には一斉に会議を行いたい。 ・全教員が一つ以上指導案を書いて授業を行っている。また、研修会も行っている。 ・教職員は、校内の掲示板で情報共有を行っている。HP にも教材の情報提供をしている。 ・地域に出かけて相談を受けたり事例を紹介したりしている。また、研修会も実施しており、地域の先生方の参加もある ・児童生徒の手話の歌、調べ学習、花の水やり等、式典や学習発表会等では、子どもの実態に合わせた活動で取り組んだ。 ・全国障がい者芸術文化祭では、人前に出るのが難しい生徒が舞台に立つ経験を通して成長することができた。 ・5 月～1 月延べ 123 名。1 回平均 3～4 名 ・子どもを語る会、サポート会議、学部会日々の観察等で、情報を共有している。 ・事務室でも児童生徒が毎日立ち寄って、コミュニケーションをとる機会を設けている。 ・平成 27 年度は、湖陵高校と iPad の活用と開発等を通じた交流をする予定である。 	

<p>④教職員の対応力の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間どのくらいで行っているのか。 <p>⑤授業等への ICT 活用の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPad の事例集などまとめたものを地域の学校に紹介してほしい。 <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校自己評価表(最終評価)と学校関係者評価委員の報告書をホームページ公表する。 <p>(3) 次年度へ向けて</p> <p>2. 取り組み改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ○評価が向上している。継続してほしい。 子どもにとっての「ふるさと」になれる学校になってほしい。 ○平等性と個別性の組み合わせが重要。情報の共有をしてほしい。 ○教職員のチーム力の向上が必要。連携することでの相互の力が向上できる。 ○心の相談が卒業後の窓口につながっている。学校行事に参加したいという卒業生がいる。学校外での結び付きも有意義な取組である。 ○教職員同士が認め合える集団にしてほしい。今やっていることに自信を持って取り組んでほしい。些細なことの中に真実が含まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月、夏休み、冬休みの3回行った。 来校された方から教職員の挨拶や対応が良いと評価をいただいている。 ・ 共有できるアプリの紹介、事例集をまとめている。HPで紹介しているものもあるが、充実させたい。 ・ 事前に報告させていただく。加筆修正があればお願いしたい。 ・ 平成28年度は全国病弱教育研究大会の主幹校となる。大会に向けて、児童生徒や保護者にも協力をしてもらいたいと考えている。 ・ 児童生徒会活動等、自治力をつけたい。 ・ 指導していただいたことを今後につなげていきたい。 ・ 「心のふるさと」になれる学校をめざしていきたい。 ・ 近隣の小中学校とのつながりを大切にしていきたい。 ・ 教職員は打たれ弱いと叱咤激励しているが認め合える集団作りにも尽力していきたい。
--	--